

令和7年道路橋示方書対応版（令和8年4月リリース）



- 概略設計システム（SuperPlanner）
- 詳細設計システム（SuperDesigner）

概略設計システム
(SuperPlanner)

連動

詳細設計システム
(SuperDesigner)

- 詳細設計システムと同じエンジンを搭載した概略設計システムは、全ての鋼桁橋の構造形式に対応しています。
- 概略設計システムから詳細設計システムにデータ連動が可能です。
- R7道示、H29道示、H24道示の全てに対応し、ボタン一つで道示の切り換えが可能です。



1 新たに導入された機能システムとその役割

R7道示では"機能"という概念が導入され、その役割を満足することが求められている。
APOLLOでは"立体的構造保持機能"など各所の計算書に明記します。

2 限界状態2の追加、限界状態3の塑性設計

H29道示では全て弾性設計から、R7道示では限界状態2が追加され限界状態3は塑性設計となった。
APOLLOでは各限界状態の考え方も示し、3つの限界状態の制限値を算出します。
(参考：図-1, 図-2)

3 応力度照査から断面力照査に

長年慣れ親しんだ"応力度照査"から"断面力照査"が導入された。 $\sigma < \sigma_{ud} \Rightarrow M < M_{ud}$
APOLLOでは難解な合成桁の断面力照査についてもその考え方を示し、3つの制限値と比較照査します。
(参考：図-3)

図-1 曲げモーメントの限界状態3

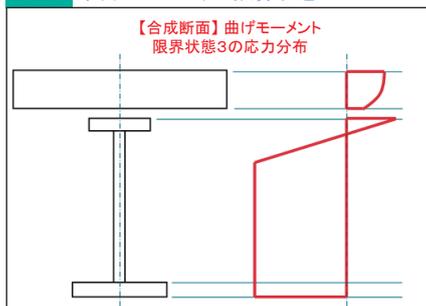


図-2 せん断力の限界状態3

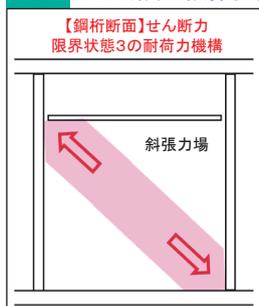


図-3 応力度照査と断面力照査

